

ひだまり



10月の出石分館行事予定

| | えほんのとびら | 出石としょかん・くらぶ |
|----|-----------------|-----------------|
| 日時 | 10月23日(木)10:30~ | 10月26日(日)14:00~ |
| 場所 | おはなしのへや | おはなしのへや |
| 対象 | 乳幼児とその保護者 | 児童 |
| 内容 | 絵本の読み聞かせ・わらべうた | 絵本の読み聞かせ・工作など |

「とよおか家族の日」関連事業

平成26年度 としょかん講演会

「家読(うちどく)っていいなあ 読書で広がる家族の輪」
のお知らせ



10月は「とよおか家族の月間」です。豊岡市立図書館では、家族で楽しむ読書「家読(うちどく)」をおすすめしています。今年は、家読推進プロジェクト代表の佐川二亮氏をお迎えし、下記の日程で家読講演会を行います。参加を希望されます方は、図書館カウンターにあります参加申込書をご記入いただき、お申込みください。

日時：10月25日(土) 午前10時30分~正午

場所：日高農村環境改善センター 多目的ホール

定員：100名

参加費：無料

今月の展示架は



『家読(うちどく)っていいなあ 読書で広がる家族の輪』



“家読(うちどく)”とは、家庭(家族)読書の略語で、読書を通じてコミュニケーションを図ることを目的としています。読書でコミュニケーション?と思われるかもしれませんが、そんなに難しいことはありません。子どもたちが、普段読んでいる物語や絵本と一緒に読んでみる、または、大人たちが少年・少女時代に夢中になって読んだ本を、子どもたちに薦めてみる。そんなところから、読書という共通の話題ができ、自然と会話も弾みます。一人ひとりの読書から家族一緒の読書へと広げてみてください。

図書館では、“家読(うちどく)”におすすめする本を展示しています。ぜひご覧になってください。

読んだ本の記録ができる
「うちどくノート」配布中!!

★ “家読(うちどく)”におすすめ! (ほんの一部です)

「っぽい」 ピーター レイノルズ/ぶん・え

「たかこ」 清水 真裕/文 青山 友美/絵

「のろのろひつじとせかせかひつじ」 蜂飼 耳/作 ミヤハラ ヨウコ/絵

「わたしはなんでも知っている」 令丈 ヒロ子/作 カタノ トモコ/絵



『歌舞伎を楽しもう!!』



秋は、出石の町がもっとも華やぐ季節。12日の“だんじり”に始まり、“きもの祭り”“お城まつり”そして“永楽館歌舞伎”と、活気にあふれた日々が続きます。

人気俳優・片岡愛之助さん出演の“永楽館歌舞伎”は、11月4日から始まります。今年の演目は「桂川連理の柵」お目見得「口上」「神の鳥」の3本。もちろん、お城まつりでのお練りも楽しみですね。出石分館では“永楽館歌舞伎”を応援しようと、恒例の歌舞伎フェアを開催しています。ぜひお立ち寄り下さい。

☆☆したたかなファンにも、初心者にも楽しめる本

『歌舞伎通になる本』 小山 観翁/著 グラフ社

☆☆ 口上の楽しみ、小道具、衣裳の楽しみいろいろ。

『歌舞伎のびっくり満喫図鑑』 君野 倫子/著 市川染五郎/監修 小学館

☆☆ 第一回柿落し公演から昨年の公演までのパンフレットなど



読んでみんちえー



《一般書》

柚木麻子



『ランチのアッコちゃん』 柚木 麻子/著 双葉社 F/ユズ

一般 25 番書架

冴えない派遣社員的美智子は、長年付き合った彼氏にふられてどんよりとしていた時、アッコ女史に「私の一週間のランチと、あなたのお弁当を取り換えっこしましょう」と声をかけられる。社長にも一目置かれる彼女との約束に重圧を感じ、美智子は沈んだ気分のまま月曜日を迎えた。が、曜日毎に食べに行く場所が違い、そこで知る会社とは違うアッコ女史の一面と出会いに、美智子はランチが楽しみとなり元気になっていく。そして、仕事にも積極的に関わるようになっていき…。

昼休憩一時間で変わっていく美智子が楽しみで、読んでいくうちに自分も新しいことに挑戦してみようかなと、チャレンジ精神と元気と活力が湧いてきて前向きになれる一冊です。

《児童書》

いつもちこくのおとこのこ
—ジョン・パトリック・
ノーマン・マクヘネシー



『いつもちこくのおとこのこ—ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー』
ジョン・バーニンガム/さく あかね書房 E/パニ 児童 6 番書架

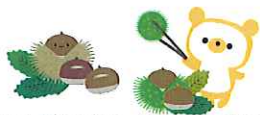
ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー、お勉強をしに、てくてく出かける。すると、ワニがマンホールから出てきてカバンにかみついた。なかなかはなれてくれないから、ちこくをしてしまう。本当のことを言ったのに、先生は信じてくれず「ワニはマンホールからでてきません。うそをついてはいけません」とおこられる。その後もジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシーが出かけると、次々と困ったことがおこり、そのたびにちこくをしてしまう。もちろん先生は、信じてくれない。ある日、いつものようにでかけたなら何もおこらなかつた。ちこくをせずに学校に着くとそこには・・・。

《いずやん》

『はじめての文学 宮本 輝』 宮本 輝/著 文藝春秋社 Y/ミヤ
いずやん 16 番書架

宮本輝の短編集。高校生におすすしたいのは「星々の悲しみ」です。予備校をさぼって図書館に通い、外国文学を読みふける浪人生の志水は、ひよんなことから医学部志望の有吉、草間と友達になる。ある日3人は喫茶店から油絵を盗み出す。それは20歳で早世した画家の「星々の悲しみ」という絵画だった…。さてその絵はどうなるのか。浪人生活わずか一年間に恋あり、病気や死ありでなかなか読み応えのある短編です。作者のあとがきと合わせて読むと「これまでの小説が語ろうとして語れなかつたもの」という最後の言葉も、作家になった動機がわかるようで興味深いです。宮本輝にぜひはまってください。

宮本 輝



新着図書案内



出石分館に新しく入った本です。

| 一般書 | | 児童書 | |
|---------------------------|-----------|------------------------------|---|
| 書名 | 著者 | 書名 | 著者 |
| 産む、産まない、産めない | 甘糟 りり子 | すすめ!きゅうじょたい | 鈴木 まもる |
| マスカレード・イブ | 東野 圭吾 | ピーター | バーナデット・ワッツ |
| 運転、見合わせ中 | 畑野 智美 | あげます。 | 浜田 桂子 |
| プロジェクトびあの | 山本 弘 | ちびうそくん | 西村 敏雄 |
| 心中おサトリ申し上げます | 未上 タニ | コウノトリよみがえる里山 | 宮垣 均 |
| ラブコメの法則 | 東山 彰良 | ねこくんいちばで ケーキをかった | ユーリー・ワズネツォフ |
| 銀翼のイカロス | 池井戸 潤 | | |
| 遺譜 (上・下) | 内田 康夫 | ぬいぐるみおとまりかい | 岡田 千晶 |
| 春の庭 | 柴崎 友香 | フランスさん、 森をえがく | フレデリック・マンソ |
| 今だけのあの子 | 芹澤 央 | | |
| 鴨川食堂おかわり | 柏井 壽 | ハッピー、ラッキーヤギダンス | 長谷川 知子 |
| 明日の子供たち | 有川 浩 | くろねこさんしろねこさん | 和歌山 静子 |
| 塩レモンでつくる おうちイタリアン | 森崎 蘭香 | がっこうのおばけずかん - あかずのきょうしつ - | 斉藤 洋 |
| 医療・看護の資格と仕事 | 梅方 久仁子 | ぼくが見た太平洋戦争 | 向田 理 |
| 不安障害の子どもたち | 近藤 直司 | 6月31日6時30分 | 寺村 輝夫 |
| 入門ガウディのすごい建築 | 鳥居 徳敏 | 富士百句で俳句入門 | 堀本 裕樹 |
| 現代女性秀歌 | 栗木 京子 | ヘレン・ケラーの かぎりない夢 | マツ・ヴァリス |
| 私を通りすぎた政治家たち | 佐々 淳行 | | |
| 尾木ママの 幸せ孫育てアドバイス | 尾木 直樹 | やろうよバトミントン | 能登 則男 |
| | | やろうよ野球 | 関口 勝己 |
| プラバンでできる大人 ガーリーなアクセサリー | 学研パブリッシング | 楽しく学べる 理科の実験・工作 | 川村 康文 |
| その薬、必要ですか? | 川島 紘一郎 | 本館・他の分館の資料も お取り寄せします。 |  |
| 涼温な家 | 松井 修三 | | |
| バレリーナのヘルスケア | 蘆田 ひろみ | | |

携帯用のホームページアドレスはこちらからどうぞ! →

〒668-0292 豊岡市出石町内町1

出石支所1階

TEL0796-21-9010

FAX0796-52-6191

